

第二次霧島市総合計画(前期基本計画)総括シート

政策体系	政策No.	4	政策名	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)	施策幹事課					
	施策No.	4	施策名	スポーツを楽しむ環境づくりの推進	スポーツ・文化振興課					
計画期間(2018年度～2022年度)における施策の方針 (総合計画書から引用)					関係課					
市民が夢や希望を持って生涯にわたり、それぞれの志向にあったスポーツやレクリエーション活動を継続できる環境づくりに取り組みます。 また、各種スポーツ大会・イベント等に対応できる施設や設備等の整備を行い、大会・イベント等の誘致拡大に努めながら、市民の競技力向上を目指します。					市民活動推進課、国民体育大会推進課、健康増進課、観光PR課、社会教育課、国分中央高等学校					
施策の方針に対する達成状況(2018～2022)					後期計画における課題					
<ul style="list-style-type: none"> ■スポーツ推進委員によるニュースポーツ体験講座やスポーツ協会による各競技別大会、広く市民を対象とした各地区スポーツ祭を実施し、市民に運動機会を提供できた。 ■プロスポーツキャンプや合宿の継続的な誘致活動、受け入れを行い、市民にトップレベルのプレーを間近で見る機会を提供することができた。 ■市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設を安全かつ快適に利用できるよう指定管理者等と連携を図り、必要な修繕を行うことで、安全、安心な利用環境を提供できた。 ■2023年に開催される特別国民大会かごしま国体、特別全国障害者スポーツ大会かごしま大会(以下、国体等)に向けて、施設修繕や整備等を行った。 					<ul style="list-style-type: none"> ■ウィズコロナでのスポーツ活動の実践や普及活動を推進する。 ■トップアスリートによるスポーツ教室や、講演等により関心層を拡大する。 ■スポーツ交流人口増大のため、スポーツキャンプ団体の継続受け入れや新規団体の誘致を進める。 ■社会体育施設の安全、安心な管理運営と計画的な改修を進める。 ■国体等に向けた受入態勢を整え、市民の気運をさらに高め、そこで得たノウハウ等を継承・活用する。 					
成果指標 (意図の達成度を表す指標)		◎目標達成(100%以上) △目標を未達成(100%未満)								
		単位	目標達成の方向性	区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	達成率 結果
A	日頃から運動・スポーツを行っている市民の割合	%	更なる増加を目指します	目標値	64.0	66.0	68.0	70.0	71.5	90.0%
				実績値	-	-	-	-	64.3	△
B	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると思う市民の割合	%	更なる増加を目指します	目標値	52.0	53.0	54.0	55.0	56.0	95.0%
				実績値	-	-	-	-	53.1	△
C	市内体育施設の年間利用者数	人	更なる増加を目指します	目標値	925,000	927,000	929,000	931,000	933,000	70.0%
				実績値	909,734	909,137	655,357	646,523	648,849	△
D	スポーツキャンプ・スポーツ合宿・大会の誘致団体数	団体	更なる増加を目指します	目標値	20	20	20	20	20	55.0%
				実績値	21	15	9	9	11	△
E	スポーツ競技団体の加入者数	人	更なる増加を目指します	目標値	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	59.0%
				実績値	8,663	8,134	8,068	7,435	7,109	△
基本事業	5年間の取組内容			5年間の取組成果			後期計画における課題			
①生涯スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■スポーツ推進委員や各種スポーツ団体、総合型地域スポーツクラブ等と連携し、全ての市民がスポーツに親しむことができる機会やきっかけづくりに努めた。 			<ul style="list-style-type: none"> ■各種スポーツ団体と連携し、ニュースポーツ体験講座や各競技別大会、各地区スポーツ祭等を開催し、市民の運動機会の提供を図ることができた。 			<ul style="list-style-type: none"> ■ウィズコロナでのスポーツ活動の実践・普及活動を推進する。 ■スポーツや運動に関心がない市民へのアプローチを工夫する。 ■地域部活動の導入や受入体制を整備する。 			
②競技スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■新たなスポーツキャンプや大会などの誘致や誘致団体数の増加を目指した。 ■国体等に向けた準備を行った。 			<ul style="list-style-type: none"> ■コロナ禍でスポーツキャンプの受入数は減少したが、新規団体を誘致するなどして、市民にトップレベルのプレーを間近で見る機会を提供することができた。 ■イベントでのPR、花育で教室、ダンス講座の開催などにより、国体等開催への気運を高めることができた。 			<ul style="list-style-type: none"> ■スポーツ交流人口増大のため、スポーツキャンプ団体の継続した受け入れを確保し、新規団体の誘致を進める。 ■国体等に向け受入態勢を整え、市民の気運をさらに高め、そこで得たノウハウ等を継承・活用する。 			
③スポーツ施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ■指定管理者等と密に連携を図り、必要な修繕を行うなど、社会体育施設の計画的な整備を行った。 ■国体等に向けた施設の整備を行った。 			<ul style="list-style-type: none"> ■施設の整備により、利用者に安全、安心な利用環境を提供できた。 ■国体等に向けて、施設修繕・整備等を行った。 			<ul style="list-style-type: none"> ■社会体育施設の安全、安心な管理運営と計画的な改修を進める。 			